

「相性のいいボール」なら

楽ちん

スコアアップ!

ボールだって
フィッティングが
必要だ!

ゴルフ5
の
ボール
相性診断

ゴルフボール
相性診断



ボール選びは自分との「相性」が大事

ゴルフボールはさまざまな種類があるのに、どのボールも「飛んで止まる」という売り込みで、どこがどう違うのかよくわからない。

アマチュアの糟谷寛人さんも、よくわからないままに普段はコンペの賞品でもらったものを使ったり、安売りに

ているボールを買ったりしているという。

そんな糟谷さんが、週末のコンペに向けてボールを購入すべく、ゴルフ仲間でフリーアナウンサーの萩原菜乃花さんと、ゴルフ5を訪れた。

とはいえ、やはりどれがいいのかわからず悩んでいた2人。そこに現れたのは、ゴルフ5PR部隊「ざわざわコンビ」の西澤義徳さんだ。

「西澤さん、ちょうどいいところに来てくれました！こちらはゴルフ仲間の糟谷さん。彼のボールを買いに来たんですが、選び方がわからなくて困っていたんです」（萩原）
「なるほど！ それならこの『ボール相性診断』をしてみてください。すぐに自分に最適なボールが見つかりますよ」（西澤）

西澤さんによると、QRコードをスマホで読み込み5つの質問に答えるだけで、自分に最適な「相性のいいボール」が見つかるという。

「ボールに相性なんてあるんですか？」（糟谷）
「そうおどろく糟谷さんだが、ゴルフボール選びは、ボール自体の性能の優劣というよりも、ボールの性能が自分に合っているかどうかの「相性」が重要なのだと西澤さん。

「ボールもクラブと一緒に、自分のヘッドスピードやプレースタイルに合ったものを使わないと、スコアメイクできません。自分に合っていないと、打ち出し角を確保できず本来のキャリヤが出せなかったり、ドライバー飛ぶけれどアイアンショットがグリーンに止まらないなどの問題が生じます。ゴルフ5の『ボール相性診断』なら、それらを考慮して最適なボールをおすすめできるんです」（西澤）

「たしかに！ どんなに飛んでも、グリーンに球を止められないとスコアにならないですね。糟谷さん、これなら次のコンペで100切りができるかもしれませんよ！」

（萩原）
「そっだね！ 簡単でわかりやすいし、打感の好みも考慮できる。これで『エースボール』が決まって、コンペも万全だ！」（糟谷）

ボール選びに悩むアマチュアのためにゴルフ5が「ボール相性診断」というサービスを開始した。たった5つの質問でスコアアップにつながるボールが見つかるぞ！

スマホで簡単!

ボールに悩むアマチュア
糟谷寛人さん

ゴルフ歴3年で、ベストスコア108のスライサー。萩原さんのゴルフ仲間でも悩めるアベレージゴルファー

やってみてください!

スコアがよくなる!

ご存じ「ざわざわコンビ」
西澤義徳さん

アルペンの社員で、ゴルフ5PR部隊「ざわざわコンビ」のキャンペーン担当としてYouTubeなどで活躍する

ゴルフ大好きフリーアナ
萩原菜乃花さん

ゴルフ大好きフリーアナウンサーで、ベストスコア75の腕前。糟谷さんのボール購入の付き添いで来店

「あなたも悩んでいませんか？」

「ボールって、どれを選べばいいかわからない!」

?

ボールは各メーカーから多種多様なモデルが発売されており、値段もバラバラ。アマチュアには性能を実感しにくいギアうえ、パッケージの説明にはどれも「飛んで止まる」と書かれていてわかりにくく、どれを選べばいいか迷いやすい

「飛距離だけで選ぶのはナンセンス!!」

プレースタイルが違えば「合うボール」も違うんだ

相性マッチングの
Point 3 好みのやわらかさから選べる

「ボール相性診断」では、設問に答えると相性のいいボールの候補が複数表示されるが、それらはボールがやわらかい順に列挙される。ボール選びの最後は、やわらかいほうがいかにしっかりした打感が好きか、自分の好みを反映して選ぼう



相性マッチングの
Point 1 スコアにつながる「アイアン重視」

スコアを出すためには、ティショットを飛ばすことよりもグリーンを狙うショットを狙ったところに止めることのほうが重要。そのため、ドライバーの飛距離以上にアイアンショットで球が止まることを優先してボールを選んだほうがスコアメイクしやすい



相性マッチングの
Point 2 プレースタイルを考慮して診断

ボールは、飛ばばいいわけでもスピニングが多ければいいわけでもない。普段のアプローチを転がしメインにしているか上げて止めるほうが多いか、飛距離重視か曲げたくないか、といったプレースタイルを考慮して、それに合ったボールを選ぶことも重要



メーカーを横断した比較が可能

ボールの性能評価は各メーカーごとに基準が違うため、従来のボールフィッティングでは別メーカー同士のボールを比較しにくかった。しかし今回、統一基準で全ボールの測定を行ったことで、メーカーを横断した性能の比較ができ、柔軟な選択が可能になった



スマホで
3分!

たった5問でベストマッチボールが見つかる!

候補のなかから
好みのやわらかさを
チョイス!



質問に答えよう



まずはQRコードを
スキャン



「ボールの性能は?」

ゴルフ5
の
ボール
相性診断

ドライバーの
飛びだけで選ぶのは
ナンセンス

「アイアン基準」だから

スコアアップ に直結!

ゴルフ5の「ボール相性診断」は
なぜスコアアップに
つながるのかその根拠と哲学を、
システムの開発者である
アルペン商品部マネジャーの
奈良公樹さんに聞いた

ありま
せんか?

「うまく打ったのに
こぼれてた」

それって
ボールのせい?

ナイス
ショットが
ちゃんと結果に
結びつく!



アルペン商品部
マネジャー

奈良公樹さん

ゴルフ5のボールバイ
ヤーマネジャーとして
ボールに精通するスペ
シャリスト。「ボール相性
診断」の開発に携わった

「知ってましたか?」
グリーンを
狙うショットが
スコア全体の約45%!

ドライバーは多くても1ラウンドで14回だが、グリーンを狙って打つショットは、アプローチも含めればトッププロでも最低20回、アマチュアならその2倍近い。その中心を担うアイアンを基準にボールを選ぶことがスコアアップのカギだ



スコアを考えるなら
「グリーンに乗るボール」

ゴルフ5のボール相性診断はスコアに直結するというが、その根拠は何なのか。システムの開発に携わった、アルペン商品部の奈良公樹マネジャーに話を聞いた。

「ゴルフ5のボール相性診断は、アイアン基準」なんです。従来はドライバーの飛距離とアプローチのスピンのばかりに目が行きがちでしたが、これはスコアアップという点から見るとちよっとズレている。実はゴルフファーが1ラウンドでプレーするストロークの40〜45%はグリーンを狙うショットなんです。だからその中心を担うアイアンショットでいちばんいい結果が出るボールをお勧めするシステムを作りました」

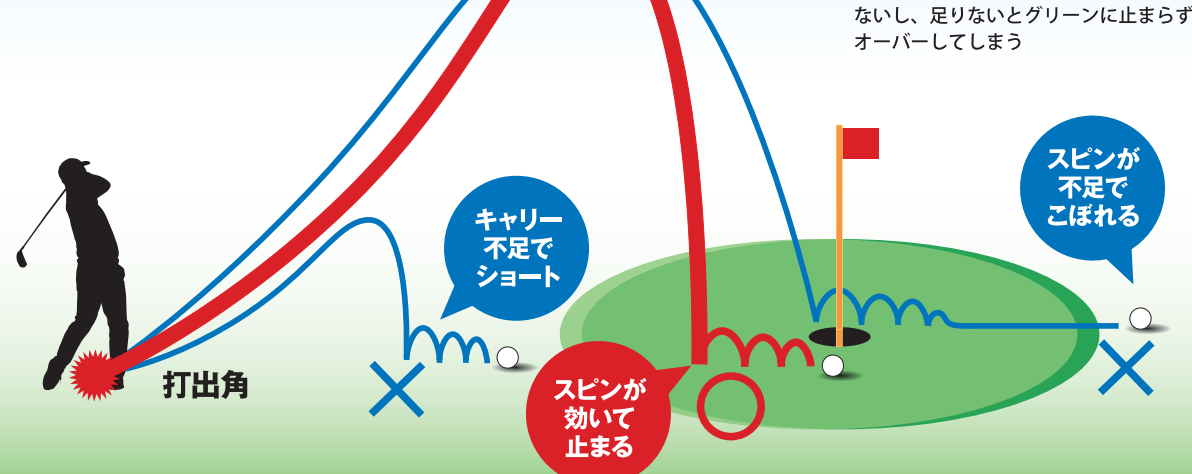
たしかにドライバーがどんなに飛んでも、2打目がグリーンに乗り、ピンの近くに止まらなければスコアにはつながらない。そこでしっかり結果が出るボールこそが「相性のいいボール」というわけだ。

「とくに大事なのは打ち出し角とバックスピンの量。グリーンに球を止めるには、高さのあるボールでしっかりキャリーを確保し、スピンを残して着弾することが大事です。ここにヘッドスピードやプレースタイルを加味して、適正ボールを提案するようなシステムになっています」

プレースタイルやヘッドスピードによっては、むやみにスピンばかり多ければいいというわけではない。そのバランスもしっかり考えられているというわけだ。

「ボールに悩んでいるという方も、いつも決まったボールをお使いの方も、一度相性診断を受けて、そのボールでラウンドしてみてほしいですね。想像以上に結果が変わると思いませんか?」

相性のいいボールなら ちゃんと届いて ちゃんと止まる!



スコアが出るのは
カップ近くに止まるボール

ボールをカップの近くに止めるには、適正な打ち出し角とバックスピンの量が必要。打ち出し角が不足しても多すぎてもキャリーが不足しショートしやすい。スピンの多すぎると吹き上がって飛ばないし、足りないグリーンに止まらずオーバーしてしまう

スピンの不足でこぼれる

スピンの効いて止まる

キャリー不足でショート

キャリーで届いてスピンの効いて止まる

チェックポイント ①

打ち出し角

ボールを止めるには適正打ち出し角が必要
適正なキャリーを得るために打ち出し角の相性をチェック。一般的にスピンの多いボールのほうが打ち出し角は低めで、低スピンのディスタンス系ボールのほうが高くなりやすい



打ち出し角が低いと球が止まらないうちが高すぎても飛ばない

チェックポイント ②

バックスピンの量

ボールのカバーがスピン性能を左右する
グリーンにボールを止めるにはスピンが必要。スピンを左右する最大の要因はカバー層の素材。ウレタンカバーのほうが多く、サーリン系のカバーのほうが少ない傾向がある



スピン重視ならウレタンカバーのボールが必須条件

チェックポイント ③

コンプレッション

やわらかさもボールの重要な性能
ボールの潰れやすさを示すコンプレッション(硬さ)は、打感を左右する重要な要因。打感のアプローチやバッティングのフィーリングに影響するので、好みの硬さを選ぶことが大事



コンプレッションは打感にも大きく関わる大事な要因

チェックポイント ④

プレースタイル

上げるか転がすか飛ばすか曲げないか
普段から転がしのアプローチをしているか、上げて止めるほうが多いかといったプレースタイルも加味。プレーヤーの実情に合った相性を診断し、最適なボールを提案する



何を重視し、どんなスタイルでプレーしているかも考慮